

新八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信
第1号（令和4年5月26日発行）
発行責任者 熊本 直樹



現状は変わらず、不安はあれども…令和4年度スタート！

「改めまして。校長の熊本です。」

宮中学校2年目となりました。校長の熊本です。昨年度1年間、保護者の方々や地域の皆様に支えられてどうかこなしてまいりました。しかし、「何をしたらろう？」と自問自答すれば、特に何も浮かんでこないことに、本当に申し訳なさを感じております。2年目となり、「来たばかりで慣れとらっさんけん」はもう通じません。どっぷりとこの宮中にはまり、全力で走り抜けるつもりです。私の教師生活はこの学校で終わりとなります（令和5年度）。教師の世界で使われる言葉ですが、私はこの学校に「骨を埋めます」。がんばりますのでよろしくお願いたします。

新入生「野活」で大活躍！

去る4月27日（水）、28日（木）、1泊2日で長崎県立世知原少年自然の家において、「野外宿泊科活動」を実施いたしました。前日は大雨、終了後の週末も雨という中、奇跡のように中日2日間の晴れを引き当てた新入生。間違いなく“持ってます”。入学してまだ1か月足らずでしたが、活動の様子がすばらしく、これから先の成長が楽しみな1年生でした。本当に充実した2日間でした。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

うつの宮姫のツイート日記

ちょっと！出番が遅いじゃないのさ。今頃第1号なわけ。全く待ちくたびれたわよ。え？私？この仕事を引き継いだ「うつの宮姫」よ。はちまん爺はどこかに旅に出ちゃったんで。始まってすぐに「野活」「修学旅行」「長崎市の研修」と宮中は次々と行事があって忙しそうだったわ。しかももうすぐ今度は市の体育大会。先生も大変だけど生徒も大変ね。でもここが踏ん張りどころ、若さで乗り切ってほしいわ。最大の試合の前とあって、部活動はどの部も熱が入っているわね。学校が一番活気に満ちるこの時期が私は一番好きだわ。勝ち負けの問題ではないけれど、宮中生徒全員に良い結果が出れば最高ね。よそでの試合や練習を少しだけのぞいたりしているけれど、たくさん怒られて、一生懸命声を出して、そして何回も礼をして…、外国の人には日本の部活動は不思議に見えるのだそう。でも私はこの伝統を大切にしたいと願う。そして理解してほしい。スポーツは一人ではできない。そして人は一人では生きていけないことを。

（2・3年生は覚えているかな）【校長はこんな人】

（生まれ）佐賀県唐津市 生～中2途中まで

（そだち）福岡県北九州市 中2途中～高卒まで

大学生からずっと長崎県内に居住しています。

（住まい）佐世保市京坪町

<エピソード1：卓球部員として>

北九州市の母校（中学校）で初の県大会出場選手（だという話でした）ということでインタビューを受けました。北九州市から県大会に出場するのは大変なことなのです。

<エピソード2：人生唯一のトロフィー>

長崎大学のマージャン大会で優勝し、（第何代かはわかりませんが）学生チャンピオンとなりました。わが人生で唯一いただいたトロフィーがいまでも家で輝きを放っています。

（な ぜ）家庭裁判所の調査官を目指し、難関と言われる試験を3次まで到達したものの最後に不合格となり、失意のまま教職に転じました。しかし、その後は「これが天職だったのだ」と思うようになりました。

（思 い）この年齢になり、この立場になり、改めて子どもという存在の大切さ、同時にその成長に関わる責任の重さを感じています。「ひとりを救う者は全世界を救う者である」というユダヤ教のことばがありますが、すばらしい生徒を一人でも多く育てる。そんな気持ちを持って、この仕事を続けています。



※プライバシー

シー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております